

第3章 新計画の基本的な考え方

第二次計画における課題に対応し、本市における子どもの読書活動に係る施策を総合的かつ計画的に推進するため、次のとおり本計画における基本理念と基本目標を定め、各種の事業を体系化するとともに、その効果を測るための指標を定めます。

1. 基本理念

「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、基本理念として、「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」としています。

本計画においてもこの理念を基本とし、子どもたちがたくさんの本に出会い、読書の楽しさ、素晴らしさを発見できるよう子どもの読書活動をみんなで支え、読書によって、未来を切り拓く力を養い、豊かな心を持った子どもに成長することを目指します。

基本理念

「未来を拓く 子どもの読書」

～いちはらの子ども一人ひとりが、自ら読書の楽しさ、素晴らしさを発見し、未来を切り拓く力を養い、情緒豊かな子どもに成長することを目指します～

2. 新計画の基本目標と取組方針

基本理念を実現するため、次の3つの基本目標を設定し、具体的な取組を進めます。

◆基本目標

- I 子どもが読書に親しむ機会の充実と環境整備の推進
- II 子どもの読書活動推進のための連携・協力と活動の支援
- III 子どもの読書活動に関する理解や関心の普及・啓発

◆基本目標Ⅰ 子どもが読書に親しむ機会の充実と環境整備の推進

家庭・地域・学校等における読書活動について、子どもが読書の楽しさや大切さを知り、自ら読書に親しむ習慣が身に付くよう、本との出会いの機会を提供するとともに、読書環境の整備を推進します。

取組方針

- 1 家庭における子どもの読書活動の推進
- 2 地域における子どもの読書活動の推進
- 3 学校等における子どもの読書活動の推進
- 4 環境整備の推進

◆基本目標Ⅱ 子どもの読書活動推進のための連携・協力と活動の支援

家庭・地域・学校・読書施設等における読書活動について関係機関や団体等と連携・協力し、子ども読書活動に関わる人材の育成や活動の支援に努めます。

取組方針

- 1 家庭における読書活動の推進に係る連携・協力
- 2 地域における読書活動の推進に係る連携・協力
- 3 学校等における読書活動の推進に係る連携・協力
- 4 行政における推進体制の整備
- 5 子ども読書活動推進に関わる人材の育成や活動の支援

◆基本目標Ⅲ 子どもの読書活動に関する理解や関心の普及・啓発

読書に関する情報を積極的に提供するとともに、読書活動の意義や重要性について理解を深め関心を高めるため、様々な機会を通じて普及・啓発に努めます。

取組方針

- 1 広報・啓発活動の推進

3. 新計画の指標

計画の進捗状況やその効果を把握するため、次の6つの指標を定め、それぞれ努力目標を設定します。

◆指標1 1か月に1冊も本を読まない児童・生徒の割合

第二次計画では、小中学生とも努力目標を達成することができましたが、読書が生活の中に位置付けられ継続して行われるよう、読書の習慣化に向けて引き続きこれを指標として定め、さらなる向上を目指します。

	2015年度		2019年度目標
小学生	1.0%	➡	0.8%
中学生	7.4%	➡	7.1%

◆指標2 1か月あたりの児童・生徒の読書量

第二次計画では、小中学生ともに努力目標を達成できましたが、引き続きこれを指標として定め、読書に親しみ、自主的な読書活動が継続されるよう向上を図ります。

	2015年度		2019年度目標
小学生	13.1冊	➡	13.5冊
中学生	4.1冊	➡	4.5冊

◆指標3 保護者やボランティアの協力体制づくりを行っている中学校の割合

第二次計画では努力目標に到達しなかったため、引き続きこれを指標として定め、保護者やボランティアによる図書の貸出、返却、修繕等に係る支援、読み聞かせやブックトーク等の協力体制づくりの推進を図ります。

	2015年度		2019年度目標
中学校	27.2% (6校)	➡	38.1% (8校)

◆指標4 図書館等と連携している小中学校の割合

市立小中学校と図書館（公民館・コミュニティセンター図書室含む）との連携率 100%達成を目指し、公共図書館資料の学校への貸出や司書による学校への訪問を行いました。目標に到達しなかったため、引き続きこれを指標として定め、連携の推進を図ります。

	2015年度		2019年度目標
小学校	88.0% (37校)	➡	100% (41校)
中学校	72.0% (16校)	➡	100% (22校)

◆指標5 子どもの図書貸出冊数

市内読書施設における子ども（18歳以下）の図書貸出冊数を、本市の児童全体の読書傾向を把握する指標として新たに目標に掲げ、計画期間内において3%増を、13歳以上（中学生・高校生世代）の読書活動については、特に重点課題と位置づけるため、4%増を目指します。

	2015年度実績		2019年度目標
5歳以下	49,013冊	➡	50,400冊
6～9歳	128,147冊	➡	131,900冊
10～12歳	81,268冊	➡	83,700冊
13～15歳	29,171冊	➡	30,300冊
16～18歳	12,831冊	➡	13,300冊

◆指標6 中央図書館と各読書施設との連携による子ども読書週間事業の参加者数

中央図書館と各読書施設の連携を強化し、本市全体で子どもの読書活動を効果的に進めるため、こどもの読書週間事業（いちばらっ子読書フェスタ）の総参加者数を新たな目標に掲げ、計画期間内において10%増を目指します。

	※参考 2016年度実績		2019年度目標
図書館と各読書施設	2,009名	➡	2,200名

4. 新計画の体系

基本理念

未来を拓く 子どもの読書
いちはらの子ども一人ひとりが、自ら読書の楽しさ、素晴らしさを発見し、
未来を切り拓く力を養い、情緒豊かな子どもに成長することを目指します。

◆基本目標Ⅰ 子どもが読書に親しむ機会の充実と環境整備の推進

取組方針

- 1 家庭における子どもの読書活動の推進
- 2 地域における子どもの読書活動の推進
- 3 学校等における子どもの読書活動の推進
- 4 環境整備の推進

◆基本目標Ⅱ 子どもの読書活動推進のための連携・協力と活動の支援

取組方針

- 1 家庭における読書活動の推進に係る連携・協力
- 2 地域における読書活動の推進に係る連携・協力
- 3 学校等における読書活動の推進に係る連携・協力
- 4 行政における推進体制の整備
- 5 子ども読書活動推進に関わる人材の育成や活動の支援

◆基本目標Ⅲ 子どもの読書活動に関する理解や関心の普及・啓発

取組方針

- 1 広報・啓発活動の推進

